



あこがれの島を走る！ 今年も参加者増！

第35回 マウイマラソン

9月18日(日)開催



35回目を迎えたマウイマラソン、今年も女性の申込者がフルマラソンで52%(総数約1700名)ハーフで65%(総数約1300名)と、特に女性から熱い支持を受けています。女性の参加者が半数を超える大会は珍しいことです。

(株)ランナーズが、国内では体験できない「楽園マラソン」として1995年から日本事務局を務め、広く薦めているマウイマラソン。今年にはスペシャルゲストに増田明美さんを迎え、9月18日(日)に米・ハワイ州マウイ島(ホノルルより空路35分)で行われます。(昨年の総参加者数の内、日本人936名/27%)



昨年、海外では珍しいハーフマラソンを新設し、ビギナーにも参加しやすいと好評でしたが、今年は日本から昨年を上回るエントリーがありました。

マウイ島は6年連続「世界のベストアイランド」3年連続「旅行で行きたい場所No.1」(米国旅行雑誌『コンデナスト・トラベラー』誌読者人気投票より)に選ばれるほどの人気があり、特に雄大な自然と古い街並みの中、景色を楽しめるコースの設定が人気です。ゆったりとした島の雰囲気の良いさもあって女性ランナーが一人でも参加しやすい大会、そして仲間の輪を広げやすい大会に成長しています。

●大会要項


2005年9月18日(日)

フル/朝5時半 ハーフ/朝5時半スタート

開催地：米国ハワイ州マウイ島

主催：ヴァレイアイルロードランナーズ協会

特別協賛： アサヒ緑健

協賛：日本航空、 ANA

マウイ島観光局、ハワイ政府観光局、ウエスティン・マウイホテル、ハワイアン航空

種目：フルマラソン/ハーフマラソン

5K Fun Run & Walk

制限時間：8時間(フルマラソン)

4時間(ハーフマラソン)

1時間(5K Fun Run & Walk)

※ただし最終ランナーがゴールするまでゲートは開きません

●マウイマラソン事務局(ランナーズ内)

TEL: 03-3714-1312 FAX: 03-3714-8300

E-mail: maui@runners.co.jp

URL: <http://www.maui-marathon.jp/> (ブログなど楽しめます)



マウイマラソンで仲間が広がる女性ランナーたち



昨年の大会でゴール後みんなと。

女性ランナーにとって海外レースに一人で参加することは不安なもの。にもかかわらず、マウイマラソンは一人で参加する女性が多いことが特徴です。大会で仲間になり、その後の交流も楽しみだとか…。マウイの何がそうさせるのでしょうか、参加者の声を聞いてみました。



石田彩子さん(東京都・36歳・会社員)

3年前に走り始めたとき、いつかはフルマラソンと考えていた石田さん。「フルを走りたいけれど不安がありました。そんな時、マウイマラソンを走るための練習会があると知り、それならできると申し込みました。案の定、そこで仲間ができ、マウイ本番でも心強かったですね。大会後も連絡を取って情報交換をしたり、走ることの悩みを聞いてもらったり…。そんな絆を作るだけの場と時間がマウイにはあるのではないのでしょうか？」

大城もとえさん(大阪府・34歳・パティシエ)

「1998年にハワイを巡った時、それまで思い描いていたイメージと違い、自然がいっぱいであつたか感じがしました。一度でマウイのとりこになったんです。3月開催の時は休みが取れなかったのですが、9月に変更になってヤッター！って感じで参加しました」という大城さんは昨年、東京国際マラソンの参加資格もクリアし、大阪では『走るケーキ屋さん』としてちょっとした有名人。「マウイではやさしい雰囲気のせいなのか他人に対してもやさしくなるんですね、だから友だちも自然にできてしまうのだと思います」となんと今年はマウイで友人の結婚式も企画しています。

詳細は大城さんのHP→ <http://motoloco.exblog.jp>



三浦礼子さん(東京都・31歳・派遣社員)

ホノルルマラソンに行きたいとダイエットを兼ねて走り始めた三浦さんは昨年、旅行感覚でマウイに初参加。「チーム参加が多いホノルルと比べ、マウイはこじんまりとしていて一人で参加する女性ランナーが目立ちますね、だから同世代同志、話しかけられ易いし、話しかけ易いんです。でも昨年は前夜祭で親しくなったご夫婦が、息子にお嫁さんがきたらこんな感じがしらって食事に誘って下さったりもしました。一人で参加してもマウイに行けば、誰か仲間がいるという安心感がありますね」

マウイマラソンとは—

マウイマラソンは、ホノルルマラソンよりも2年早い1971年にスタートしたが、20年経っても参加者総数300人規模の小さな大会だった。1995年、大会ディレクターにイベントの専門家ボブ・クレーバー氏が就任。もっと多くの人に開放したいと変革をはかった。交通アクセス、沿道整備、広報活動など、大会のグレードが飛躍的にアップした。時を同じくして、それまで毎年何人かの日本人ランナーを送り込んでいたランナーズ社も、上岡龍太郎氏にスポンサーを依頼、快諾していただいた。彼の資金提供とPR活動のお陰でその年、参加者総数574人のうち日本人参加者は193人と急増。ここ数年は毎年10社以上のマラソンツアーも催行されている。

●ランナーズ12月号にて大会の様子・結果をご報告します

10月21日発売の月刊『ランナーズ』にて第35回マウイマラソンの大会結果などご紹介いたします。

●マウイマラソンDVDをお貸しいたします

昨年開催された第34回マウイマラソンの大会の様子がわかるDVDをお貸しいたします。